特別支援学級（知的）　　自立活動学習指導案

# チャレンジタイム発表会

指導者　　佐藤　惠子

特別支援教育支援員　住田　鈴江

1　単元設定の理由

○　本単元は，特別支援学校学習指導要領（小学部）に基づいて設定した。

特別支援学校学習指導要領（小学部）には，自立活動の目標として以下のように示されている。

> 第1　目　標
>
> 個々の児童又は生徒が自立を目指し，障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識，技能，態度及び習慣を養い，もって心身の調和的発達の基盤を培う。

ここでいう「自立」とは，児童生徒がそれぞれの障害の状態や発達の段階等に応じて，主体的に自己の力を可能な限り発揮し，よりよく生きていこうとすることを意味している。

そして，「障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する」とは，児童生徒の実態に応じ，日常生活や学習場面等の諸活動において，その障害によって生ずるつまづきや困難を軽減しようとしたり，また，障害があることを受容したり，つまづきや困難の解消のために努めたりすることを明記したものである。

また，「調和的発達の基盤を培う」とは，一人一人の児童生徒の発達の遅れや不均衡を改善したり，発達の進んでいる側面を更に伸ばすことによって遅れている側面の発達を促すようにしたりして，全人的な発達を促進することを意味している。（特別支援学校学習指導要領解説自立活動編より）

自立活動の内容は26項目あり，それらは次の六区分に整理されている。

1　健康の保持（生活のリズムや生活習慣の形成に関すること　　他３項目）
2　心理的な安定（情緒の安定に関すること　他２項目）
3　人間関係の形成（他者とのかかわりの基礎に関すること　他３項目）
4　環境の把握（保有する感覚の活用に関すること　他４項目）
5　身体の動き（姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること　他４項目）
6　コミュニケーション（コミュニケーションの基礎的能力に関すること　他４項目）

これらの内容は，すべてを取り扱うものではなく，一人一人の児童生徒の実態に応じて必要な項目を選定し，それらを相互に関連付けて取り扱うこととしている。

これらのことに基づき，本学級では，自立活動の年間目標を次の様に設定している。

「健康の保持」「心理的な安定」「人間関係の形成」「環境の把握」「身体の動き」「コミュニケーション」の６つの区分を関連させながら指導することをとおして，障害による困難を克服し，改善するための知識，技能，態度及び習慣を養う。

本単元では，６つの区分の中から，特に「身体の動き」「人間関係の形成」に視点をあて，各児童が本単元での学習活動をとおして，苦手とすることを改善し，自己肯定感を高めることをねらいとしている。

○児童観

本学級の児童３名（１年女子１名　３年男子２名）の実態については次のようである。

（1年　K児について）

小学校生活に慣れ，毎日明るく元気よく学校生活を送っている。特にたんぽぽ学級にいる時には大きな声で話し，表情も豊かである。学習の始めと終わりのあいさつをすることが好きで，笑顔で元気のいい声で言うことができる。

教師の指示を１回聞いただけでは理解できていないことがあるため，短い言葉で理解の様子を把握しながら話すようにしている。興味があるものに対して衝動的に向かっていくことがあるが，指示すると状況に応じた行動をとることができる。入学時，話す際に，サ行がタ行になっていたが，今では自分でも気をつけることができるようになってきつつある。吃音が出る。

【身体の動き】

・ なわとびを結ぶことは以前はできないことが多かったが，練習してきた結果，できるようになってきつつある。
・ 上体起こしは，体の使い方や力の入れ方が適切でなく，以前は１回もできないことがあったが，練習してきた結果，２０秒間に８回程度できるようになってきた。

【人間関係の形成】

・ たんぽぽ学級では，教師に大きな声で自分から話しかけてくるが，交流学級では，自分から話すことは少なく，声が小さいことが多い。自信があまりないことが考えられる。

（3年　A児について）

今年度，たんぽぽ学級に１年生が入級してきたことにより，上級生としての自覚がめばえ，１学期は１年生の児童に学校生活のいろいろなことについて，本人のペースではあるが，教えてあげていた。A児は，周囲のいろいろなことが気になり，学習へのとりかかりに時間がかかったり，学習を集中して続けたりすることが難しい面がある。気になることが解決しないと次へ進めない面があるので，児童のペースに合わせたり，児童が落ち着いて学習できる環境を作ったりしながら指導してきた。

A児は，自分が話したいことについてはよく話すが，こちらが話すことについては，耳に入っていないこともある。注意を向けることにより，一つの話題についてだんだんと会話が続くようになってきている。サ行の発音が不明瞭なので，聞き取りにくい時には，声をかけて繰り返し練習するようにしている。（タ行になりやすい）

【身体の動き】

・ 手先を使うことを少し苦手としている。なわとびを結ぶことやはさみを使うこと，リコーダーの演奏をすることなどである。練習してきた結果，なわとびを結ぶことや「エーデルワイス」のリコーダー奏ができるようになってきた。
・ 筋力がやや弱く，上体起こしなど苦手である。体の柔軟性やバランス感覚もやや足りない。マット運動の後ろ回りをする時，手のつき方が正しくできないことが多い。

【人間関係の形成】

・ 以前は，少し苦手なことを励まして練習させようとしても，「できん。」と言ってはじめから練習しようとしないことが多々あった。自信をもてていないことが多かったと考えられる。今では，リコーダー等，自分から進んで練習することもできるようになってきた。

（3年　T児について）

１年生入学時には，自分から話すことはほとんど無かったが，今では，「おはよう」と声をかけると，「おはよう」と言えるようになっている。自分が何か尋ねたいことがあると，単語ではあるが，教師に尋ねてくるようになってきている。最近では，一つのことだけでなく，二つ三つ次々に尋ねてくることもできるようになってきている。学校生活の中で，T児にわかりやすい言葉で話し，身振りも入れてコミュニケーションを図るようにしている。

T児は，遊びとして絵や文字を描くことが好きで，一日に何回も描いている。手先も器用で粘土遊びやはさみの使い方はよくできる。

【身体の動き】

・　なわとびを結ぶことは苦手である。
・　上体起こしはやや苦手で，体の柔軟性やバランス感覚もやや足りない。マット運動の後ろ回りをする時，手のつき方が正しくできないことがあったが，ブリッジを練習することによりできるようになってきた。

【人間関係の形成】

・　ふだん教師や友達の働きかけに応えようとしている。しかし，友達に注意された時などに，大きな声を出すことがたまにある。

○単元観

本単元は，児童のやや苦手とすることを１時間の中で短時間ずつ練習することにより，苦手なことを改善し，自信をもたせ，児童の自己肯定感を高めることをねらいとしている。また，チャレンジタイム発表会をすることを活動のゴールとして設定し，児童の意欲を高めるようにしている。

本学級では，週１時間ある自立活動の時間を２学期から「チャレンジタイム」とし，児童が少し苦手とするようなことを「チャレンジタイム」の時間に継続的に取り組んでいる。たとえば，なわとび結び，ひも結び，雑巾しぼり，片足立ちバランス，上体起こし，柔軟体操，リコーダー奏や鍵盤ハーモニカ奏等である。

その結果，K児やA児はなわとび結びは一人でできるようになってきた。また，リコーダー奏はA児もT児も教師の指使いを見て，指が以前よりも動きやすくなってきている。K児は，始め上体起こしは２０秒間に１回もできなかったが，最近では，８回程度できるようになってきた。

自分の苦手なことが少しでも改善されると，「もう一度やりたい。」と言って意欲を示すようになってきている。

○指導観

指導にあたっては，児童が楽しんで取り組めるよう，授業の始めに「じゃんけん列車」等を取り入れ，児童がお互いに関わり合い，楽しい雰囲気のもとで意欲をもたせたい。また，各児童に「チャレンジカード」を作り，練習した種目に児童が自分でシールを貼っていくことができるようにし，達成感がもてるようにする。

一つの種目にかける時間については，８分以内にし，児童の集中力が続くようにしたい。

上体起こしの回数やかた足バランスの時間など，種目によっては各児童に目標をもたせ，その目標に向かって取り組んでいけるようにする。教師の支援が必要な場合は，スモールステップで無理のないよう支援していく。

少しの進歩でも認めるようにして自信や意欲につなげていきたい。

2　単元の目標

（1年K児）

○　自分の目標に向かって姿勢と運動・動作の基本的な動きができる。　【身体の動き】

○　自分の不得意なことを少しでも改善し自己肯定感をもつことができる。　【人間関係の形成】

（3年A児）

○　自分の目標に向かって姿勢と運動・動作の基本的な動きができる。　【身体の動き】

○　自分の不得意なことを少しでも改善し自己肯定感をもつことができる。　【人間関係の形成】

（3年T児）

○　自分の目標に向かって姿勢と運動・動作の基本的な動きができる。　【身体の動き】

○　教師や友達の働きかけに応えようとする。（T児）　【人間関係の形成】

3　単元の評価規準

| | 身体の動き | 人間関係の形成 |
|---|---|---|
| 単元の評価規準 | ○自分の目標に向かって，基本的な体の動きができる。（K児　A児　T児） | ○教師や友達に働きかけられると，それに応えようとしている。（T児）<br><br>○自分の不得意なことに取り組み少しでも改善し自己肯定感をもつことができる。（K児　A児） |

4　指導計画（全10時間）

| 次 | 学習活動 | 期待する児童の姿 | 評価規準（評価方法） |
|---|---|---|---|
| 一 | チャレンジタイムにどんなことをするか知り，意欲をもつ。（1） | **チャレンジタイム，おもしろそうだな，がんばろう。** | ○自分の不得意なことを練習しようとする気持ちをもつことができる。（K･A）<br>【人間関係の形成】（観察） |
| 二 | じゃんけん列車，なわとびの結び方，雑巾の絞り方のれんしゅうをする。（1） | **じゃんけん列車のルールを守るよ。なわとびの結び方むずかしいけどやってみるよ。** | ○なわとび結び，雑巾絞りができるようになろうと努力している。（K･A）<br>【人間関係の形成】（観察）<br>○教師の働きかけに応えようとしている。（T）　【人間関係の形成】（観察） |
| | リコーダー（3年），鍵盤ハーモニカ（1年）を付け加えて練習をする。（1） | **先生の指使いを見て指を動かそう。** | ○リコーダー（3年），鍵盤ハーモニカ（1年）のそれぞれの課題ができるよう努力している。（K･A）<br>【人間関係の形成】（観察）<br>○教師の働きかけに応えようとしている。（T）　【人間関係の形成】（観察） |
| | 上体起こし，片足バランス，柔軟体操の練習をする。（1） | **目標回数・目標時間を決めてがんばるよ。** | ○自分の目標に向かって上体起こし・片足バランスをやっている。（K・A・T）【身体の動き】（観察）<br>○友達や教師の働きかけに応えて上体起こしをしている。（T）<br>【人間関係の形成】（観察） |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 今までに練習してきたことのおさらいをする。（4） | **前よりできるようになったよ。** | ○目標に向かって基本的な体の動きが以前よりできている。（K･A･T）<br>【身体の動き】（観察）<br>○以前よりできたことに対して自信をもつことができている。（K･A）<br>【人間関係の形成】（観察）<br>○友達や教師の働きかけに応えようとしている。（T）【人間関係の形成】（観察） |
| 三 | 今までに練習してきたことを発表する。（2）（本時２／２） | **わたし（ぼく）が司会をするよ。一生懸命がんばるよ。** | ○司会を自分達でしながら，今まで練習してきたチャレンジの種目により記録を伸ばそうと取り組んでいる。（K･A）<br>【人間関係の形成】（観察）<br>○友達や教師の働きかけに応えようとしている。（T）【人間関係の形成】（観察）<br>○各児の目標に向かって基本的な体の動きができている。（K･A･T）<br>【身体の動き】（観察） |

5　本時の展開

⑴ 本時の目標

（1年K児）

○　自分の目標に向かって，基本的な体の動き（上体起こし，片足バランス，柔軟体操など）ができる。【身体の動き】

○　チャレンジタイムを見てもらうことをとおして，自分の目標に向かっていろいろな種目にチャレンジし自分の不得意とすることを少しでも改善することにより，自己肯定感をもつことができる。【人間関係の形成】

（3年A児）

○　自分の目標に向かって，基本的な体の動き（上体起こし，片足バランス，柔軟体操など）ができる。【身体の動き】

○　チャレンジタイムを見てもらうことをとおして，自分の目標に向かっていろいろな種目にチャレンジし自分の不得意とすることを少しでも改善することにより，自己肯定感をもつことができる。【人間関係の形成】

（3年T児）

○　自分の目標に向かって，基本的な体の動き（上体起こし，片足バランス，柔軟体操など）ができる。【身体の動き】

○　友達や教師の働きかけに応えようとする。【人間関係の形成】

⑵ 観点別評価規準

（1年K児）

○　自分の目標に向かって，基本的な体の動き（上体起こし，片足バランス，柔軟体操など）ができている。【身体の動き】

○　自分の目標に向かっていろいろな種目にチャレンジし自分の不得意とすることを少しでも改善することにより，自己肯定感をもつことができている。【人間関係の形成】

（3年A児）

○　自分の目標に向かって，基本的な体の動き（上体起こし，片足バランス，柔軟体操など）ができている。【身体の動き】

○　自分の目標に向かっていろいろな種目にチャレンジし自分の不得意とすることを少しでも改善することにより，自己肯定感をもつことができている。【人間関係の形成】

（3年T児）

○　自分の目標に向かって，基本的な体の動き（上体起こし，片足バランス，柔軟体操など）ができている。【身体の動き】

○　友達や教師の働きかけに応えようとしている。【人間関係の形成】

(3) 準備物

チャレンジする種目を書いた掲示物　ストップウォッチ

チャレンジカード　なわとび　リコーダー（3年生）　鍵盤ハーモニカ（1年生）

(4) 学習の展開

<table>
<tr><th>学習活動</th><th colspan="3">指導上の留意点（○）と支援（◆）</th><th></th></tr>
<tr><td rowspan="3">休憩時間に机を後ろに寄せ，チャレンジタイムの準備をする。じゃんけん列車をする<br>1　はじめのあいさつ当番があいさつをする。<br>2　チャレンジタイムを見てもらうことを確認し活動の見通しをもつ。<br>3　今まで練習してきた種目を順番におこなう。</td><td colspan="3">○じゃんけん列車をおこない，楽しい雰囲気を作る。<br><br>チャレンジタイム発表会をしよう<br><br>○チャレンジタイム発表会をすることを話し，意欲をもたせる。<br>○種目を掲示し，見通しをもって活動できるようにする。それぞれの児童の目標を確認する。</td><td rowspan="3"></td></tr>
<tr><td>1年　K児</td><td>3年　A児</td><td>3年　T児</td></tr>
<tr><td>○なわとび結び<br>・チャレンジカードにシールを貼る。一人でできたら賞シールを加える。<br>○上体起こし（２０秒）<br>・友達がする時には相手の足をおさえる。<br>・チャレンジカードにシールを貼る。</td><td>◆K 児のやり方を見守り，必要に応じて助言する。できたら誉める。<br><br>・目標（9回）<br>○A 児と T 児が K 児の足をおさえるように声をかける。<br>○力を入れてできたら誉める。</td><td>◆A 児の結び方を見守る。助言なしでできたら誉める。<br><br>・目標（10 回）<br>○K 児と T 児が A 児の足をおさえるように声をかける<br>○力を入れてできたら誉める。</td><td>◆結び方を補助する。できたら誉める。<br><br>・目標（7回）<br>○K 児と A 児が T 児の足をおさえるように声をかける。<br>○力を入れてできたら誉める。</td><td>○自分の目標に向かって基本的な体の動きが以前よりできている。<br>(K･A･T)<br>【身体の動き】<br>（観察）<br><br>○教師や友達の働きか</td></tr>
</table>

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 目標達成できたら賞シールを加える。<br>○片足バランス<br>・右足を上げる。<br>・左足を上げる。<br>・チャレンジカードにシールを貼る<br>目標達成できたら賞シールを加える。<br>○柔軟体操<br>・前屈をする<br>・ブリッジをする<br>・チャレンジカードにシールを貼る。<br>一人でできたら賞シールを加える。<br>○鍵盤ハーモニカ<br>「かえるの合唱」他<br>リコーダー<br>「エーデルワイス」他<br>・チャレンジカードにシールを貼る。<br>一人で演奏できたら賞シールを加える。<br>4　ふり返りをする | ・目標（30秒）<br>○ストップウォッチで計測しながら，目標達成できるよう声をかけて励ます。<br>○足を閉じて前屈，足を開いて右，左，正面の順に前屈するよう声をかける。<br>◆正しい手のつき方ができているかどうか見て確認する。<br>◆鍵盤ハーモニカに「どれみふぁそらしど」のシールを貼っておく。鍵盤ハーモニカを演奏する時の指の動きを助言する。（おさえる鍵盤を必要に応じて教師が指差す。）<br>○良かったところを誉める。<br>○自分のふり返りと友達のがんばったところを話すようにさせる。 | ・目標（100秒）<br>○ストップウォッチで計測しながら，目標達成できるよう声をかけて励ます。<br>○足を閉じて前屈，足を開いて右，左，正面の順に前屈するよう声をかける。<br>◆正しい手のつき方ができていなかったら助言する。<br>◆始めに教師の後についてリズムを変えながらタンギングの練習をする。トゥー，トゥー，というように助言する。リコーダーを演奏する時は，正面で教師が演奏し，指使いがわかるようにする。<br>○良かったところを誉める。<br>○自分のふり返りと友達のがんばったところを話すようにさせる。 | ・目標（60秒）<br>○ストップウォッチで計測しながら，目標達成できるよう声をかけて励ます。<br>○足を閉じて前屈，足を開いて右，左，正面の順に前屈するよう声をかける。<br>◆正しい手のつき方ができているかどうか見て確認する。目線を助言する。<br>◆始めに教師の後についてリズムを変えながらタンギングの練習をする。リコーダーを演奏する時は，正面で教師が演奏し，指使いがわかるようにする。<br>○良かったところを誉める。<br>◆ふり返りの言葉を提示し，選んで話すようにさせたり，教師の後について話すよ | けに応えようとしている。(T)【人間関係の形成】(観察)<br>○自分の目標に向かって基本的な体の動きが以前よりできている。(K･A･T)【身体の動き】(観察) |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 5　終わりのあいさつ<br>・当番があいさつをする | ◆ふり返りの言葉が言えるよう声をかける。 | ◆ふり返りの言葉が言えるよう声をかける。 | うにさせたりする。 | |